



# ネイチャーセンターだより

2015年4月号

## いきもの図鑑



### アトリ (アトリ科)

学名 *Fringilla montifringilla* [山のアトリ]

英名 Brambling

冬鳥または旅鳥として根室にやって来る優しい目をした鳥。年によって、渡来数に大きな変動がある。今シーズンは道東一帯で、2月下旬から100羽以上の大群が見られる日があり、アトリの当たり年だったようだ。奈良時代から大群を作る鳥として知られ、「集まる鳥」が略され変化し、現在のアトリという名がついた。主に木の実や花の種を食べるので、くちばしが太い。冬～春の時期しか見られないので、観察するなら今がチャンス！

### 【上旬】

ネイチャーセンター周辺では、雪解けが始まると真っ先にフクジュソウやフキ、ザゼンソウが見られ、春が来たことを感じさせてくれます。春国岱の第一砂丘ではヒバリが空高くさえずる姿が見え始めます。タンチョウやオジロワシ、オオハクチョウなど大型の鳥類が見られるのもこの時期ならではのです。

### 4月の見どころ



ミヤコドリ



フクジュソウ



ヒバリ



ノビタキ

### 【下旬】

繁殖のためにたくさんの鳥たちが南から渡って来ます。ノビタキやアオジがさえずり、ジジジジと滑空する時に翼を鳴らすオオジシギなどが現れ一気に春めくでしょう。ミヤコドリなどシギ・チドリの仲間が、旅の途中に風蓮湖の干潟で一休みしに来ます。

# 見どころMAP

オオハクチョウやカモたちが、越冬地から繁殖地に向けて旅をする途中に立ち寄ります。

ヒバリやノビタキ、オオジュリンが第一砂丘に繁殖のため戻ってきます。

日当たりのよい場所でフクジュソウが咲いていることも。水辺にはエゾアカガエルが産卵のために集まってきます。



アカゲラ、ハシブトガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラなどが繁殖準備を始めます。

木道が破損したため通行禁止となっています。海岸沿いの作業道をご利用ください。

ウミネコの数が増え始め、シロカモメ、ワシカモメは徐々に繁殖地へ渡ります。

タンチョウ夫婦が仲睦まじく干潟でエサを採っています。

- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)

- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

⊗ 通行止め

## 春国岱 生きもの暦

今シーズンの冬は、大型の低気圧に次々と襲われたものの、気温は記録的な高さとなるなど異例づくめでした。気づけば、日はぐんと長くなり、陽射しも暖かくなりました。朝はシジュウカラやゴジュウカラの元気な鳴き声も聞こえ、新しい季節の始まりにウキウキしてきます。春の訪れを感じさせてくれるものに、夏鳥の飛来があります。今年はいつごろ、かの地から彼らは渡ってくるでしょう。昨年の初認日を参考に鳥たちとの再会を楽しみに待ちましょう！

いつ	とり	どこで
3/25	ヒバリ	春国岱
4/13	ミヤコドリ	春国岱湾
4/18	オオジシギ	ネイチャーセンター周辺
4/25	エゾアカガエル	小鳥の小道のエゾアカガエルの淵
4/26	サンショウウオ	〃
5/11	エゾムシクイ	小鳥の小道
5/31	コヨシキリ	ネイチャーセンター周辺
6/6	シマセンニュウ	春国岱
6/8	マキノセンニュウ	春国岱



トピックス

## フィールド講座②

## 「風蓮湖のコクガン」講演会

コクガンは秋と春の渡り時期に見られ、国の天然記念物にも指定されているガンの仲間ですが、その生態や実態はあまり知られていません。そこで昨年度東コクガンネットワークを立ち上げられた藤井薫さんにお話を伺いました。藤井さんは1980年代半ばに初めて、野付半島の野付湾でコクガンのカウント調査を実施し、それ以降もコクガンを見続けています。講座では、まずコクガンの特徴としてベジタリアンであること、つがいになるとどちらかが死ぬまで相手を変えない本当のおしどり夫婦であること（カモは毎年ペアを変えます）、他のガンの生息地は淡水域であるのに対してコクガンは親海性が高いことなどを教えていただきました。風蓮湖で見られるコクガンは、アラスカや東シベリアからの2つの渡りルートを使っているようだというでした。標識調査では、同じコクガンが1年目にはメキシコで越冬し、2年目には宮城県で越冬していたことがわかった事例が紹介されました。風を利用して渡るので、時には思いがけないところに行ってしまうこともあるようです。風蓮湖でコクガンはアマモを食べています。もしアマモ場がなくなるとコクガンをはじめアマモに依存する生きものや漁業にも影響が出てしまいます。アマモ場を保全することで、コクガンが安心して休憩できる風蓮湖の健全な環境が守られることがわかりました。

風蓮湖・春国岱ラムサール登録 10周年  
春国岱ネイチャーセンター開館 20周年

今年は、4月に春国岱ネイチャーセンターが開館 20周年、11月に風蓮湖、春国岱がラムサール条約湿地登録 10周年を迎える節目の年です。

ネイチャーセンターは、根室市民や観光で訪れる来館者に、風蓮湖と春国岱の類いまれな環境の魅力を知ってもらい、この自然が後世も続くように、ラムサール条約登録湿地の重要性について伝えてきました。風蓮湖は漁師さんの漁場であり、タンチヨウやシギなど多くの鳥たちの重要なエサ場でもあります。お互いが干渉せず適度な距離を保って、海の恵みを分けあえることができる、そんな関係であり続けるために、これからも様々な取り組みをしていきたいと思えます。記念イヤーの2015年は、通常のイベントに加えて、新しい企画も考案中です！詳しくは紙面やホームページ等でお知らせしますので、皆さん、ご期待ください！



## 春国岱クイズ

先月号の答え…A

毎年春になると、ネイチャーセンターの隣の森の池にカエルたちが集まります。色も形もちがうけれど、足の指にもそれぞれ特徴があります。泳ぎが得意なカエルは水かきが発達していて、吸盤があるカエルはガラス面や植物の茎を登るのが得意です。泳ぎが得意なのはAとBどちらでしょう。後ろ足をよーく見てみてね！



# イベント情報！

観察会などへの参加申込み、お問い合わせは春国岱ネイチャーセンターへ  
電話（0153-25-3047）もしくは直接のご連絡をお願いいたします。



開催日時	行事名・内容	参加費	お申し込み方法など
4月2日（日） ～26日（日）	<b>第21回タンチョウイラスト展</b> タンチョウが生息する道東の小中学生が描いたタンチョウのイラストを展示します。子どもたちのイラストを通してタンチョウの魅力を感じてください！ 運が良ければ、当日本物のタンチョウが春国岱を歩く姿をみられるでしょう	—	開館時間中はいつでも ご覧いただけます 



## ◆春国岱の自然観察路の木道について◆



前号でもお伝えした通り、昨年の高潮の被害により現在春国岱のヒバリ・キタキツネ・アカエゾマツコースの自然観察路（木道）が使えません。冬の期間は、雪に覆われた草原を歩くことができましたが、春はヒバリなど小鳥たちの繁殖シーズンに入るため、海岸側の漁師さんが利用する砂利の作業道（—線）を歩いてください。ご不便をおかけしますが、ご協力をよろしくお願いいたします。



## 新レンジャーからごあいさつ

4月から根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンターに着任しました、日本野鳥の会の山岸洋樹と申します。昨年度までは、温根沼大橋のそばにある野鳥保護区事業所で、タンチョウやシマフクロウなどの生息地を守る活動をしてきました。

根室での生活は今年で3年目になりますが、新たな季節が巡るたびに春国岱をはじめとした根室の自然に感動しています。春国岱の美しい景色や豊かな恵みをいつまでも残せるように、仕事に励んでいきたいです。

春国岱を訪れた際は、是非ネイチャーセンターにも遊びに来てください。皆さんとお会いできることを楽しみにしています！



## フィールドマナーを守って



自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu\_nc@marimo.or.jp

URL. [http://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)

◆4月休館日1日、8日、15日、22日、30日

開館時間：9：00～17：00

◆団体でご利用の方へ

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。

（要 事前申込）



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録